

# 鉄道友の会 2017 年度定時総会 議案書

日 時 2017 年 7 月 1 日 (土) 13:15～15:15 (13:00 開場)  
場 所 北とびあ 第 2 研修室 (東京都北区王子 1-11-1)

## 総 会 次 第

司 会	理 事	加藤 幸弘
議 長	副 会 長	柚原 誠
挨 拶	会 長	須田 寛
出席者・議決権行使者数報告	議 長	

## 《議 事》

第 1 号議案	2016 年度運営報告承認の件	専務理事	関 崇博
第 2 号議案	2016 年度収支決算報告承認の件	理 事	二宮 敬彦
第 3 号議案	2017 年度運営計画案承認の件	専務理事	関 崇博
第 4 号議案	2017 年度収支予算案承認の件	理 事	二宮 敬彦
第 5 号議案	役員選考会を構成する代議員選出の件	専務理事	関 崇博

# [第1号議案] 2016年度運営報告

## 組織概況

### 《役員》

会長	須田 寛	(2014年7月5日推戴)	
副会長	久保 敏	(2014年7月5日推戴)	
副会長	柚原 誠	(2014年7月5日推戴)	
副会長	松田 清宏	(2014年7月5日推戴)	
理事	13名	(2016年7月9日選出)	【18ページ参照】
監事	2名	(2016年7月9日選出)	【18ページ参照】

《名誉会員・参与・顧問》 名誉会員 0名、参与 13名、顧問 5名  
(2017年3月末現在) 【18ページ参照】

### 《会員》

正会員	2,991名		
家族会員	32名		
合計	3,023名	(2017年3月末現在)	(前年比△44名) △75名 計算ミス

(参考)

3,098名 (2016年3月末) (前年比△105名)

3,203名 (2015年3月末) (前年比△12名)

3,215名 (2014年3月末) (前年比△29名)

### 賛助会員

	71社	(2017年3月末現在)	【19ページ参照】
(参考)	72社	(2016年3月末)	
	69社	(2015年3月末)	
	72社	(2014年3月末)	

《代議員》 61名 (2017～2018年度)  
(参考) 2015年度選出時点も 61名

【18ページ参照】

### 《研究会・支部》

研究会 (7)	車両記録研究会、客車気動車研究会、貨車研究会、小田急研究会、東急電車研究会、西鉄研究会、無線サークル
支部 (17)	北海道支部、秋田支部、山形支部、北関東支部、東京支部、新潟支部、長野支部、北陸支部、福井支部、静岡支部、名古屋支部、京都支部、阪神支部、東中国支部、中国支部、四国支部、九州支部

(2017年3月末現在)

## 会務概況

### はじめに

昨年 2016 年は当会創立から 63 年目、会員各位の献身的な活動により着実に歩みを継続しています。まずは、会員各位には、事業推進にお力添えをいただき感謝申し上げます。

さて、2016 年度の定時総会で承認いただいた運営計画の基本方針は、「創立時とは大きく異なる社会状況と時代の変革が進むなかで、さらには当会への社会のニーズを確かめ対応しつつ、会員の活動においては、会則に定める会の目的を踏まえてステップアップを引き続き目指すとともに、鉄道趣味の健全な発展を促すための活動を進めることを目指す。」とこのことで、以下 3 つの重点項目を掲げ、各項目に複数の活動目標を設定しました。以下にその概要を総括します。

### (1) 社会的認知度の向上

鉄道と鉄道趣味の発展に寄与することを目的として、下記の活動を推進するとともに、その充実をはかります。

ア) 鉄道車両を文化財的記録として社会に広めるための活動の推進

① 鉄道車両の文化財化活動の継続実施

② 鉄道シリーズ切手等を通して、鉄道車両の情報を社会に広める活動の推進

イ) 顕彰活動の充実

① ブルーリボン賞・ローレル賞の顕彰の実施

② 島秀雄記念優秀著作賞の顕彰の実施

ウ) 鉄道友の会アーカイブ（資料保存と活用方法の検討）の継続検討と推進

エ) 賛助会員、関連業界、諸官庁、協会・団体等との交流・連携及び海外との交流推進

ア) ①の文化財化活動については、2015 年度、国産量産形蒸気機関車 230 形 233 号機の文化財推薦へ向けての調査報告書を取りまとめ文化庁に提出、それを受けて 233 号機は文化財に推薦、2016 年 8 月官報により公布されて正式に国重要文化財となりました。

それに引続き 2016 年度は、院電ナゲ 6141（鉄道博物館蔵）と東京地下鉄道 1001（地下鉄博物館蔵）の文化財推薦へ向け調査報告書を作成して文化庁に提出、これを受け両車は本年 3 月に国重要文化財に推薦されました。

②の鉄道シリーズ切手については、「鉄道シリーズ切手（第 4 集）」（2016 年 10 月 7 日発行）に関して、写真等資料の提供、記載内容の確認等の協力を行いました。

イ) ①・②ともに、例年通り実施いたしました。

ウ) 継続検討を実施、その活動の一環として、機関誌 RAILFAN の臨時増刊で「特集:日本国有鉄道 電車形式集 1960 (5)」および「特集:451 系～475 系電車」を取りまとめ発行しました。また、鉄道友の会ウェブサイト（会員サイト内）に RAILFAN バックナンバー検索ページを構築し、創刊号からの目次をキーワード検索できるようにしました。

エ) については、恒例行事の「鉄道ファン/キヤノン フォトコンテストの後援」の協力等を行いました。また日本郵便の「鉄道シリーズ切手」（第 4 集）の発行に協力しました。また、新たに設定した「海外との交流推進」については、2016 年度台湾鉄路管理局や高雄 MRT 等を訪問して友好の絆を結び、それを踏まえて 2017 年 1 月本部主催初の海外事業として、台湾の鉄道を見学撮影するツアーを実施しました。

## (2) 会則が定める目的を実現するための方策の支援

鉄道知識の普及のための方策に対し、さらなる充実をはかる機会を会員に提供するために、その活動を支援します。

- ア) 鉄道友の会ウェブサイトの更なる充実
- イ) 機関誌「RAILFAN」の定期発行と内容の充実
- ウ) 全国の会員を対象とした一連の複数行事の開催
- エ) 支部の要請に基づく支部行事への支援

ア) については、2015年度予算で、鉄道友の会ウェブサイトの全面改良を2016年4月に実施しましたが、2016年度においても細部の改良を継続しました。

イ) については、通常号6冊、別冊2冊（「特集:日本国有鉄道 電車形式集 1960(5)」及び「特集:451系～475系電車」）の計8冊を発行しました。

ウ) については、福岡地域(3件)実施しました。

エ) については、支部との合同行事、海外行事を含めて、28件を実施しました。

## (3) 活動基盤強化

鉄道趣味の理解と広がりの中で、当会の広報活動の強化をはかり、社会的認知度の向上を目指しつつ、会員増加を図ります。

- ア) 鉄道趣味誌での活動紹介「鉄道友の会だより」掲載
- イ) 鉄道友の会ウェブサイト全般の改善強化・効果的システムの構築
- ウ) 社会が当会に求めるニーズに合わせて、制度・規程類の整備・見直しを検討

ア) については、従来通り継続しました。

イ) については、SNSを活用した自動告知システムを構築し、お知らせ類や報告類の周知をはかりました。また、一般公開サイトでは新規に立ち上げた「JRCニュースリリース」欄を活用して外部への情報発信を強化したほか、会員サイトを通して、本部から発信する各種のお知らせについても発信頻度を高めました。

ウ) 2005年度の機構改革実施から10年余が経過、また2013年の当会創立60周年を機に始まった当会の今後の方向性等についての審議・検討についても継続しています。

本項で最終的に目的とした“会員増加を図る”ことに関して、入会促進のための企画(特製ポストカードを作成し贈呈)を継続実施しました。

今年度も会員数の斬減がありました。この会員減に関しては他の趣味団体等でも同様に顕在化しており、背景には我が国のおかれた若年層の減少と高齢化社会の進行、また団体活動等に関する社会風潮の変化等の要素もあるようにも思われます。

本件に関しては、“魅力的な会とは何か”ということも含めて、会全体での真摯な議論が必要と考えています。是非とも会員諸氏の前向きなご意見・ご提案をお願い致します。

以上、単年度としては、全体として予定した活動を実行できたと考えています。次ページ以降に、各業務の詳細報告を示します。

## 担当業務報告

### 1. 総務／事務局

#### (1) 会費関係

ア) 2016年度分の本部会費と研究会・支部費一括納入は、2研究会・13支部、本部行事案内の19種類(本部、客車気動車、無線、北海道、北関東、東京(2種類)、長野、新潟、北陸、福井、静岡、名古屋(2種類)、阪神、中国、四国、九州(2種類))について実施しましたが、その利用者は、1,374名でした。

2017年度会費の一括納入では、2016年度と同じ19種類について実施しています。

イ) 会費納入方法については、ゆうちょ銀行振替自動払込みの利用者は419名でした。

また、銀行振込の利用者は47名でした。

2017年度会費のゆうちょ銀行振替自動払込みの利用者は399名でした。

#### (2) 賛助会員関係

賛助会員は、相模鉄道株式会社が入会、シュハリ・イニシアティブ株式会社、マルティ・アンド・カンパニー株式会社の2社が退会しました。

#### (3) 総会・代議員関係

通常総会は、2016年7月9日(土)に北区北とぴあ7階第2研修室で開催しました。総会構成員総数79名のうち、議決権行使者数は78名(出席62名、委任16名)でした。

総会終了後、下記テーマで記念講演会を開催。

須田会長：「鉄道施設、車両は文化財、(産業)観光資源」、

小野田理事：「233号機関車が国重要文化財に指定されるまで」

参加会員、公募を含め74名が聴講しました。

さらに会員相互の親睦を図るため、希望者・有志による懇親会を開催しました。北とぴあ16階、東武サロン「天覧の間」。参加会員64名。

#### (4) 理事会関係

理事会は次の通り7回開催しました。

2016年 4月24日(日)、5月28日(土)、7月30日(土)、9月24日(土)、  
11月26日(土)、

2017年 1月22日(日)、3月25日(土)

#### (5) 名誉会員・参与・顧問関係

名誉会員・参与・顧問と役員の見聞交換会を、10月16日(日)、

アルカディア市ヶ谷で開催しました。(優秀著作賞贈呈式の午前中)

顧問2名、参与5名、役員14名の21名が参加しました。

## 2. 経理

### 収 支

収 入	23,320,376 円
前期繰越	△1,971,436 円
収入合計	21,348,940 円

支 出	22,848,935 円
-----	--------------

収支差額	△1,499,995 円（単年度収支 471,441 円）
------	-------------------------------

収支差額は約 150 万円の赤字となりましたが、前年度の繰越金が約 197 万円の赤字であり、単年度の収支では約 47 万円の黒字となりました。

雑収入の大半は、日本郵便からの「鉄道シリーズ切手」の監修料です。

【12・13 ページ参照】

## 3. 事業

### (1) 本部行事の開催

全会員を対象とした見学会、講演会、撮影会等の行事開催は、下記の通りです。

#### ■一般行事

No.	開催日	行事名	開催場所	参加者
1	4月23日	山陽電鉄 6000 系試乗・撮影会(阪神支部共催)	東二見車庫→飾磨車庫→東二見(試乗)両車庫で撮影	97 名
2	5月14日	神戸電鉄 6500 系撮影会(阪神支部共催)	鈴蘭台車庫	71 名
3	6月25日	札幌市交通局 7000 形お別れ・撮影会	西車両基地	19 名
4	6月26日	千歳線沿線撮影会	美々-植苗間	18 名
5	7月31日	東京都交通局荒川線 7700 形撮影会	荒川車庫	30 名
6	8月6日	東日本旅客鉄道 HB-E210 系ローレル賞贈呈式	女川駅	16 名
7	8月20日	四日市あすなろう鉄道 新 260 系ローレル賞贈呈式・試乗会(名古屋支部共催)	四日市駅	66 名
8	8月27日	近畿日本鉄道「青の交響曲」試乗と撮影会(阪神支部共催)	阿部野橋-吉野-天美(試乗) 天美車庫(撮影)	120 名
9	10月2日	阪神電気鉄道 5700 系ブルーリボン賞 贈呈式・試乗会・撮影会(阪神支部共催)	甲子園駅(式典) 甲子園-石屋川車庫-梅田(試乗) 石屋川車庫(撮影)	98 名
10	10月22日	山陽電鉄 3000 系撮影会(阪神支部共催)	飾磨車庫	58 名
11	10月30日	東京地下鉄 13000 系撮影会(AM)	千住検車区竹ノ塚分室	32 名
12	10月30日	東京地下鉄 13000 系撮影会(PM)	千住検車区竹ノ塚分室	32 名
13	11月20日	阪急電鉄 2300 系保存車撮影会(阪神・京都支部共催)	正雀車庫	86 名
14	12月10日	上信電鉄 150 形撮影会	高崎車両区	28 名

15	1月15日	東京都交通局荒川線 7700 形撮影会 II	荒川車庫	29名
16	2月4日	泉北高速鉄道 12000 系撮影会(阪神支部共催)	光明池車庫	30名
17	2月27日	小田急電鉄 EXE α 撮影会(小田急研究会共催)	海老名検車区	30名
18	3月1日	西日本旅客鉄道 323 系撮影会(阪神支部共催)	吹田総合車両所森ノ宮支所	97名

## ■JRC フェスティバル

### JRC フェスティバル in 福岡(2017年2/25-26)

1	2月25日	九州旅客鉄道 819 系撮影会	直方車両センター竹下派出	27名
2	2月25日	懇親会	福岡市内	22名
3	2月26日	西日本鉄道 9000 形撮影会	筑紫車庫	33名

## ■海外行事

### 台湾(2017年1/10-14)

1	1月10日	台湾鉄道 1号及び9号(保存車)見学撮影	二二八和平公園(台北市)	9名
2	1月11日	台湾鐵路管理局 TEMU2000 形(普悠瑪)見学撮影	台北機務段[樹林調車場](新北市)	
3	1月11日	製糖工場の鉄道の保存展示施設見学撮影	台湾糖業博物館(高雄市)	
4	1月11日	台湾鉄道の歴史及び車両展示施設見学撮影	打狗鉄道故事館(高雄市)	
5	1月12日	高雄 LRT(架線レスシステム路面電車)見学撮影	前鎮機廠及び沿線(高雄市)	
6	1月12日	BK24 保存機(重要文化財 233号と同仕様)見学撮影	成功大学(台南市)	
7	1月13日	阿里山鉄道の車両基地(保存車含む)見学撮影	阿里山森林鉄道車庫圏内(嘉義市)	
8	1月13日	台湾鐵路管理局 CK124 号動態保存機見学撮影	彰化機務段[扇形庫](彰化市)	

## (2) 顕彰関係

### (2) -1 ブルーリボン賞・ローレル賞

(a) 2016年ブルーリボン賞・ローレル賞の選考を次の通り行いました。

ア) 2015年11月28日(土)開催の理事会で選考委員を選出しました。

選考委員(9名)：大幡哲海、亀井秀夫、近藤圭一郎、佐藤芳彦、篠原 丞、  
登山昭彦、西尾恵介、藤崎 正、柚原 誠 会員

イ) 第1回選考委員会を2016年1月23日(土)に開催しました。

選考委員長に柚原 誠委員を互選で選出、ブルーリボン賞・ローレル賞候補車両14車種を選定しました。

会員投票用はがきを、「RAILFAN」744号に同封しました。(投票締切2016年4月18日(月)消印有効)。

【「RAILFAN」744号(2016.4)参照】

エ) 第2回選考委員会は2016年4月23日(土)に開催しました。

会員投票の開票およびブルーリボン賞・ローレル賞の選定を行いました。

投票者数 1,513名 (投票率 48.81%)

選定結果

ブルーリボン賞 阪神電気鉄道 5700系

ローレル賞 東日本旅客鉄道 HB-E210系

四日市あすなろう鉄道 新260系

【「RAILFAN」745号(2016.6)参照】

オ) 選定に関するプレス発表は、2016年5月24日(木)10時に国土交通省記者会

および交通運輸記者クラブ、青灯クラブ(JR西日本内)、東海交通研究会で実施しました。また、日本鉄道車輛工業会、日本民営鉄道協会、鉄道趣味誌出版各社にお知らせしました。

なお、受賞した鉄道事業者側の発表としては、阪神電気鉄道および四日市あすなろう鉄道から、5月24日にプレス発表がありました。また、その後の新聞報道としては、翌日に大阪で発行の日経新聞、朝日新聞にブルーリボン賞の記事、中日新聞にあすなろう鉄道のローレル賞の記事、5月30日に交通新聞に全体の記事が掲載されました。

カ) 贈呈式は、次の通り開催しました。(詳細は、本部主催行事関係参照)

・ブルーリボン賞 阪神電気鉄道 5700系

2016年10月2日(日) 阪神電気鉄道、甲子園駅

【「RAILFAN」750号(2017.2)参照】

・ローレル賞 東日本旅客鉄道 EV-E301系

2016年8月6日(土) 東日本旅客鉄道 女川駅

【「RAILFAN」747号(2016.10)参照】

・ローレル賞 四日市あすなろう鉄道 新260系

2016年8月20日(土) 四日市あすなろう鉄道四日市駅

【「RAILFAN」748号(2016.12)参照】

(b) 2017年ブルーリボン賞・ローレル賞の選考を次の通り行なっています。

ア) 2016年11月26日(土)開催の理事会で選考委員を選出しました。

選考委員(10名): 大幡哲海、加藤幸弘、亀井秀夫、坂戸宏太、佐藤芳彦、  
篠原 丞、登山昭彦、西尾恵介、橋本政明、真鍋裕司 会員

イ) 第1回選考委員会を2017年1月21日(土)に開催しました。

選考委員長に加藤幸弘委員を互選で選出、ブルーリボン賞・ローレル賞候補車両  
13車種を選定しました。

会員投票用はがきを、「RAILFAN」752号に同封しました。

(投票締切 2017年4月17日(月)消印有効)

【「RAILFAN」752号(2017.4)参照】

## (2)-2 島秀雄記念優秀著作賞

(a) 2016年島秀雄記念優秀著作賞の選考を次の通り行いました。

ア) 今年度から、候補作品の範囲を当該年の前年の1年間限りとしていましたが、年末の出版物を完全にフォローすることが難しいことや、出版後ある程度の時間が経過してから評価される作品もあるため、今回より当該年の前年を含む3年間に遡って候補作品を募集することに変更しました。



イ) 選考委員に下記 10 会員が選出されました。

選考委員(10名)：岩沙克次、荻原俊夫、小野田滋、白土貞夫、曾根悟、

高井薫平、原田雅純、藤田吾郎、前田喜代治、三木理史 会員

ウ) 候補作品の募集案内を「RAILFAN」742号(2016年2月発行)および鉄道友の会ウェブサイト(会員サイト)に掲載しました(応募締切2016年3月18日(金))。

エ) 延べ推薦数は35件(単行本部門20件、定期刊行物部門15件)でした。

オ) 第1回選考委員会を2016年4月24日(日)に開催。選考委員長に曾根 悟委員を互選で選出しました。

カ) 第2次選考対象として単行本部門5件、定期刊行物部門4件を選定しました。

キ) 最終選考委員会を2016年7月16日(土)に開催しました。

[選定結果]

単行本部門 (2件)

- ・高木宏之「国鉄蒸気機関車史」 ネコ・パブリッシング刊
- ・中村光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」 JTBパブリッシング刊

定期刊行物部門 (1件)

- ・野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」  
(電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015年12月号掲載)

特別部門 (2件)

- ・関西鉄道研究会 「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して
- ・中国鉄道時刻研究会 「中国鉄道時刻表」の出版に対して

(b)

ア) プレス発表は、2016年8月8日(火)10時に国土交通省記者会で行いました。また、鉄道趣味誌出版各社にお知らせしました。

イ) 贈呈式は、次の通り開催しました。

開催日・場所：2016年10月16日(日) アルカディア市ヶ谷 私学会館

参加者：37名 【「RAILFAN」738号(2015.10)参照】

(c) 2017年島秀雄記念優秀著作賞の選考を次の通り行っています。

ア) 候補作品の募集案内を「RAILFAN」750号(2017年2月発行)および会員向サイトに掲載しました(応募締切2017年3月17日(金))。

#### 4. 組織

(1) これからの鉄道友の会「2020年ビジョン」の策定に向けて継続検討しています。社会に貢献する鉄道友の会を目標に、規程・体制の見直し、可能なものから実行に移します。

- ・機構改革10年経過を踏まえての課題抽出。
- ・理事等担務分掌の明確化。
- ・会員数3,000名の維持。

(2) 「鉄道文化財推薦委員会」

ア) 2016年11月11日(金)に地下鉄博物館を訪れて東京地下鉄道1001号に関する資料調査を実施、同14日(月)に鉄道博物館を訪れて院電ナデ6141号に関する資料調査

を実施しました。

- イ) 追加の資料調査と原寸調査を2017年1月13日(金)に鉄道博物館、1月17日(火)に地下鉄博物館で実施し、調査報告書(最終版)を文化庁に提出しました。
- ウ) 2017年3月3日(金)に鉄道友の会鉄道文化財推薦委員会(前田喜代治委員長)を開催し、今年度の報告と次年度以降の進め方について審議しました。
- エ) 2017年3月10日(金)の文化審議会で、院電6141号と東京地下鉄道1001号が電気車として初めての国指定重要文化財に答申されました(文化財指定は「官報」掲載後に発効)。

(3) 鉄道友の会ウェブサイトによる連絡方法の利用状況は次の通りです。

- ア) ウェブサイトからの入会申込は152件あり、内103名が入会しました。  
(情報担当と共同)
- イ) 「本部行事案内」(はがき・封書による行事告知)は、2016年度154名の会員が利用されました。発行件数は、20回(はがき使用19回、封書使用1回)でした。  
2017年度も、162名に配信中です(5月25日現在)。(情報担当と共同)

(4) 「鉄道友の会ご案内」パンフレットは、

- ア) 支部の協力を得て、模型運転会、写真展等の行事開催時に、一般向に配布をお願いしています。また、模型店他の協力を得て、店頭等での配布を行っています。

入会案内配布場所：

東京:カワイモデル、せとうち の他、名古屋:リニア・鉄道館での配付を始めました。

- イ) PDF版をウェブページよりダウンロード出来ます。

(情報・編集担当と共同)

## 5. 編集

(1) 機関誌「RAILFAN」

- ア) 2016年度は、第743～750号まで通常号6冊、臨時増刊号2冊を発行しました。  
臨時増刊号の特集テーマは次の通りです。

No.743 (特集：日本国有鉄道 電車形式集 1960(5))

No.749 (特集：451系～475系電車)

- イ) 「予告・お知らせ」「例会予定」「行事報告」は、会務情報システムの活用で、ウェブサイトとの連携強化を図っています。(情報担当と共同)

- ウ) 店頭販売 下記3書店での店頭販売を行っています。

書泉グランデ、書泉ブックタワー、旭屋書店なんばCity店。

(2) 鉄道趣味誌「鉄道友の会だより」

下記5誌に「鉄道友の会だより」を毎月掲載しています。

「鉄道ピクトリアル」「鉄道ファン」「鉄道ジャーナル」「とれいん」「Rail Magazine」

## 6. 情報

(1) 鉄道友の会ウェブサイト

鉄道友の会ウェブサイトの改良を引き続き進め、以下の通り実施しました。

- ア) 会務に関する情報流通は、会務情報システムにより運用しています。2016年度中に

すべての研究会・支部が会務情報システムに加入しました。

- イ) 会員サイトに、新規コンテンツとして「RAILFANバックナンバー検索」ページを構築しました。
- ウ) SNS (TwitterおよびFacebook) に公式アカウントを立ち上げ、鉄道友の会サイト(会員サイト)で「予告・お知らせ」「報告」がアップされると、自動的にそのタイトルを告知するシステムを構築しました。これにより、ハガキ通知などを使わずに告知情報の見逃しを防止できるようにしました。
- エ) 会員サイトのパスワードを覚えやすくし、閲覧率を向上させる試みとして、パスワード変更を従来の年2回から年1回にするとともに、パスワードの日本語化を検討しました。(\*2017年4月から試験的に実施)
- オ) 2016年4月の全面改良以降、鉄道友の会ウェブサイトのアクセス数などについてグーグル・アナリティクスを使った分析を開始しています。

## 7. 広報

### (1) 広報関係

- ア) 2016第40回鉄道ファン/キヤノン フォトコンテスト(主催:交友社/キヤノンマーケティングジャパン)を後援、鉄道友の会賞を贈呈しました。  
また、鉄道友の会賞・グランプリ・ジュニア賞の入賞者に副賞として、会員資格1年分を贈呈しました。表彰式:2016年11月25日(金)キヤノンギャラリー銀座2017第41回も引き続き「後援」します。
- イ) 各鉄道事業者、報道・出版関連からの取材、情報提供依頼、問い合わせ、商品の販促企画相談等に随時対応しました。(総数約150件)

## 8. 海外

- (1) 次の各国の鉄道ファンクラブ等と会報、情報等の交換を引き続き実施しました。  
「RAILFAN」は、目次を英訳して添付しています。なお、友好の挨拶を行った  
中華民国(台湾鐵路管理局)にも送付を始めました。  
送付国(10カ国・14団体):  
オーストラリア、ベルギー、フランス、ニュージーランド、ノルウェー、  
スウェーデン、イギリス、アメリカ、ウルグアイ、中華民国(台湾)
- (2) NRHS(National Railway Historical Society、本部アメリカ)日本支部事務局を、  
本会本部事務局に置き活動を継続中です。日本支部会員は12名、代表は宮崎繁幹会員  
です。
- (3) 本部主催初の海外鉄道見学・撮影会として、台湾の鉄道を訪問しました。

## 9. その他

- (1) 日本郵便株式会社への協力  
歴代ブルーリボン賞受賞車両等をテーマにした「鉄道シリーズ切手」(第4集)の画像  
提供、監修について協力を行ないました。2017年も引き続き協力を行っています。

# [第2号議案] 2016年度収支決算報告

2016年度 収支計算書(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

## 1. 収支計算の部

### (1) 収入の部

単位:円

科 目	予 算	決 算	差 額	予算執行率
会費収入				
入 会 金	200,000	159,000	△ 41,000	79.5%
一 般 会 費	19,600,000	18,737,450	△ 862,550	95.6%
賛 助 会 費	1,900,000	1,840,000	△ 60,000	96.8%
( 小 計 )	21,700,000	20,736,450	△ 963,550	95.6%
会費外収入				
支 部 事 務 受 託 料	400,000	394,440	△ 5,560	98.6%
会 報 委 託	600,000	1,126,160	526,160	187.7%
会 報 広 告	100,000	86,400	△ 13,600	86.4%
受 取 利 息	1,000	5,079	4,079	507.9%
行 事 収 入	400,000	361,600	△ 38,400	90.4%
雑 収 入	500,000	610,247	110,247	122.0%
( 収 入 計 )	23,701,000	23,320,376	△ 380,624	98.4%
前 期 繰 越	-1,971,436	-1,971,436	0	100.0%
別 途 積 立 金 戻 入	1,500,000	0	△ 1,500,000	---
基 本 金 戻 入	615,288	0	△ 615,288	---
収 入 合 計 ( A )	23,844,852	21,348,940	△ 2,495,912	89.5%

### (2) 支出の部

科 目	予 算	決 算	差 額	予算執行率
会 報 費	14,150,000	12,781,807	△ 1,368,193	90.3%
会報印刷費	7,600,000	6,642,087	△ 957,913	87.4%
会報発送費	1,550,000	1,263,604	△ 286,396	81.5%
会報制作費	5,000,000	4,876,116	△ 123,884	97.5%
広 報 文 書 等 発 行 費	0	0	0	
表 彰 費	800,000	1,109,784	309,784	138.7%
情 報 シ ス テ ム 費	500,000	488,444	△ 11,556	97.7%
行 事 費	400,000	325,804	△ 74,196	81.5%
事 業 費	20,000	20,000	0	100.0%
海 外 交 流 費	0	0	0	
特 定 プ ロ ジ ェ ク ト 費	0	0	0	
総 会 費	100,000	105,236	5,236	105.2%
理 事 会 議 費	650,000	825,060	175,060	126.9%
会 員 証 費	220,000	272,690	52,690	124.0%
機 器 更 新 費	0	0	0	
事 務 局 費	7,000,000	6,920,110	△ 79,890	98.9%
別 途 積 立 金 繰 入	0	0	0	---
予 備 費	4,852	0	△ 4,852	---
支 出 合 計 ( B )	23,844,852	22,848,935	△ 995,917	95.8%
収 支 差 額 ( C ) = ( A ) - ( B )	0	△ 1,499,995	△ 1,499,995	

[参考] 単年度収支

471,441円(2015年度△3,818,725円)

2. 正味財産増減計算の部

単位:円

科 目	決 算 額	備 考
収 支 差 額 ( C )	-1,499,995	
資 産 増 加 額 ( D )	0	
資 本 減 少 額 ( E )	0	
基 本 金 繰 入 額 ( F )	0	
次 期 繰 越 金 (G) = (C) + (D) - (E) - (F)	-1,499,995	

貸借対照表

2017年3月31日現在

単位:円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	13,395	未 払 金	1,755,556
普 通 預 金	22,627,950	預 り 金	4,202,925
ゆうちよ銀行振替	1,863,274	2017年度会費前受金	16,178,600
定 額 貯 金	9,926,928	前 受 金	0
債 券	0	仮 受 金	0
未 収 金	0	別 途 積 立 金	1,500,000
前 払 金	16,530		
仮 払 金	0	負 債 計	23,637,081
棚 卸 資 産	72,080		
貯 蔵 品	0		
流 動 資 産 計	34,520,157	正 味 財 産 の 部	
		科 目	金 額
什 器 備 品	322,717	基 本 金	14,615,288
差 入 れ 保 証 金	1,909,500	次 期 繰 越	-1,499,995
		正 味 財 産 計	13,115,293
固 定 資 産 計	2,232,217		
合 計	36,752,374	合 計	36,752,374

## 監査報告

本議案書に記載の活動報告等は、会の状況を正しく示しているものと認めます。

役員は職務を適正に執行しているものと認めます。

帳票類を精査の結果、会計処理は適正に実施されており、また、計算書類は、収支および財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

2017年4月23日

監事 千代村 資夫 ⑩

監事 西尾 恵介 ⑩

## [第3号議案] 2017年度運営計画案

### 基本方針

創立時とは大きく異なる社会状況と時代の変革が進むなかで、さらには当会への社会のニーズを確かめ対応しつつ、会員の活動においては、会則に定める会の目的を踏まえてステップアップを引き続き目指すとともに、鉄道趣味の健全な発展を促すための活動を進めることを目指すこととし、以下に、三つの重点項目と各々の活動目標を掲げます。

### 重点項目

#### (1) 社会的認知度の向上

鉄道と鉄道趣味の発展に寄与することを目的として、下記の活動を推進するとともに、その充実を図ります。

ア) 鉄道車両を文化財的記録として社会に広めるための活動の推進

① 鉄道車両の文化財化活動の継続実施

② 鉄道シリーズ切手等を通して、鉄道車両の情報を社会に広める活動の推進

イ) 顕彰活動の充実

① ブルーリボン賞・ローレル賞の顕彰の実施

② 島秀雄記念優秀著作賞の顕彰の実施

ウ) 鉄道友の会アーカイブ（資料保存と活用方法の検討）の継続検討と推進

エ) 賛助会員、関連業界、諸官庁、協会・団体等との交流・連携及び海外との交流推進

#### (2) 会則が定める目的を実現するための方策

鉄道知識の普及のため、更なる充実をはかる機会を会員に提供するよう、下記の活動を推進します。

ア) 機関誌「RAILFAN」通常号の定期発行と増刊号の内容充実

イ) 鉄道友の会ウェブサイトの充実

ウ) 全国の会員を対象とした一連行事の開催

エ) 会活動活性化のための各組織間の連携強化

#### (3) 活動基盤強化

鉄道趣味の理解と広がりの中、当会の広報活動の強化を図り、社会的認知度の向上を目指します。

ア) 積極的「会員の増加活動」

イ) 鉄道友の会ウェブサイトを通じた効果的な情報発信

ウ) 社会が当会に求めるニーズに合わせて、制度・規程類の整備・見直し

エ) 鉄道趣味誌での活動紹介「鉄道友の会だより」掲載

[第4号議案] 2017年度予算案

2017年度 予算案(2017年4月1日より2018年3月31日まで)

(1) 収入の部 単位:円

科 目	2017年度 予算案	2016年度 予算案	差 額	2016年度 決 算
会費収入				
入金	160,000	200,000	-40,000	159,000
一般会費	18,740,000	19,600,000	-860,000	18,737,450
賛助会費	1,850,000	1,900,000	-50,000	1,840,000
( 小 計 )	20,750,000	21,700,000	-950,000	20,736,450
会費外収入				
支部事務受託	400,000	400,000	0	394,440
会報委託	700,000	600,000	100,000	1,126,160
会報広告知	100,000	100,000	0	86,400
受取利息	1,000	1,000	0	5,079
行事収入	400,000	400,000	0	361,600
雑収入	520,000	500,000	20,000	610,247
( 収 入 計 )	22,871,000	23,701,000	-830,000	23,320,376
前期繰越	-1,499,995	-1,971,436	471,441	-1,971,436
別途積立金戻入	1,500,000	1,500,000	0	0
基本金戻入	0	615,288	-615,288	0
収入合計 ( A )	22,871,005	23,844,852	-973,847	21,348,940

(2) 支出の部

科 目	2017年度 予算案	2016年度 予算案	差 額	2016年度 決 算
会報費	13,000,000	14,150,000	-1,150,000	12,781,807
会報印刷費	6,700,000	7,600,000	-900,000	6,642,087
会報発送費	1,400,000	1,550,000	-150,000	1,263,604
会報制作費	4,900,000	5,000,000	-100,000	4,876,116
広報文書等発行費	0	0	0	0
表彰費	900,000	800,000	100,000	1,109,784
情報システム費	500,000	500,000	0	488,444
行事費	400,000	400,000	0	325,804
事業費	20,000	20,000	0	20,000
海外交流費	0	0	0	0
特定プロジェクト費	0	0	0	0
総理事会費	100,000	100,000	0	105,236
理事会議費	650,000	650,000	0	825,060
会員証費	300,000	220,000	80,000	272,690
機器更新費	0	0	0	0
事務局費	7,000,000	7,000,000	0	6,920,110
別途積立金繰入	0	0	0	0
予備費	1,005	4,852	-3,847	0
支出合計 ( B )	22,871,005	23,844,852	-973,847	22,848,935
収支差額 (C)=(A)-(B)	0	0	0	-1,499,995



## **【第5号議案】 役員選考会を構成する 代議員選出の件**

総会規程第7条第3項および総会規程の運用に関する内規第1号の規定に基づき、役員選考会を構成する代議員として、次の3名を選出することを提案します。

中山	嘉彦	会員
真鍋	裕司	会員
焼田	健	会員

## [参考資料] 役員等名簿 (2017年7月1日現在)

### 理事・監事 担務

理事 (13名)

関 崇博 [専務理事]

内田隆夫 [総務]、大庭幸雄 [総務・事務局長]、大幡哲海 [編集]、小野田滋 [事業]、

加藤幸弘 [組織]、亀井秀夫 [事業]、下田晃市 [事業]、二宮敬彦 [経理]、

服部朗宏 [情報]、日比政昭 [広報・情報]、藤崎正 [事業]、山口進 [組織]

(注) 理事 近藤圭一郎は、一身上の都合により、2016年11月20日付退任。

監事 (2名)

千代村資夫、西尾恵介

理事・監事の任期は2016年度～2017年度(2018年度定時総会終了時迄)

### 名誉会員・参与・顧問

名誉会員 (0名)

参与 (13名)

生方良雄、久保田久雄、沢柳健一、白井 昭、白土貞夫、高山禮蔵、高井薫平、

田部井康修、西野保行、長谷川明、三橋克己、宮澤孝一、山口長之

(注) 監事 千代村資夫は、監事就任により退任。

顧問 (5名)

青木栄一、佐伯 洋、曾根 悟、前田喜代治、山口益生

### 代議員

[正会員からの推薦] (30名)

石川勝久、井口昌樹、宇田賢吉、海老澤賢治、片岡 薫、北野隆雄、小菅一己、

佐藤浩也、坂戸宏太、塩屋敏之、新谷一郎、篠原 丞、須永 望、高木雅敏、

中村 稔、西川 要、橋本政明、濱道輝章、原 英喜、兵頭俊康、平野正範、

平石大貴、古屋憲隆、松嶋克広、真鍋裕司、前田善弘、水澤宗和、三宅弘晃、

山岸房雄、吉田行男

[研究会からの推薦] (5名)

藤岡雄一(車両記録研究会)、藤田吾郎(客車気動車研究会)、島谷基信(小田急研究会)、

金子智治(東急電車研究会)、吉富 実(西鉄研究会)

[支部からの推薦] (17名)

斉藤 凌(北海道支部)、本田正博(秋田支部)、武田 守(山形支部)、

大島登志彦(北関東支部)、山口長之(東京支部)、沢野慎一(新潟支部)、

藤岡博信(長野支部)、卯野一郎(北陸支部)、岸本雅行(福井支部)、

増田 昭(静岡支部)、野上基長(名古屋支部)、三増晃嗣(京都支部)、

坪倉則孝(阪神支部)、大賀宗一郎(東中国支部)、名本 学(中国支部)、

森川 厚(四国支部)、日下博文(九州支部)

[理事会からの推薦] (9名)

秋元克広、荻原俊夫、佐藤竜一、竹上潤司、登山昭彦、中山嘉彦、深見夏好、三宅俊彦、

焼田 健

(注) 任期：2017年4月1日～2019年3月31日

## [参考資料]

## 2016 年度賛助会員名簿

(2017 年 3 月末現在/五十音順)

会 員 名	会 員 名
株式会社アネック	株式会社総合車両製作所
アルナ車両株式会社	株式会社ダイワトーイ
アルナ輸送機用品株式会社	株式会社鉄道ジャーナル社
イカロス出版株式会社	鉄道情報システム株式会社
株式会社井門コーポレーション	株式会社電気車研究会
叡山電鉄株式会社	東海旅客鉄道株式会社
江ノ島電鉄株式会社	東京急行電鉄株式会社
株式会社エリエイ	東京地下鉄株式会社
小田急電鉄株式会社	東武鉄道株式会社
株式会社カトー	株式会社トータルメディア開発研究所
川崎重工業株式会社	株式会社動輪堂
北大阪急行電鉄株式会社	株式会社中村自工
九州旅客鉄道株式会社	名古屋鉄道株式会社
株式会社京三製作所	ナブテスコ株式会社
近畿車輛株式会社	南海電気鉄道株式会社
近畿日本鉄道株式会社	新潟トランス株式会社
株式会社ケイ・エス・ケイ	西日本旅客鉄道株式会社
京王電鉄株式会社	日本貨物鉄道株式会社
京成電鉄株式会社	一般社団法人日本交通協会
京阪電気鉄道株式会社	日本車輛製造株式会社
京浜急行電鉄株式会社	日本信号株式会社
公益財団法人交通協力会	日本鉄道写真作家協会
株式会社交通新聞社	公益財団法人日本ナショナルトラスト
神戸電鉄株式会社	株式会社ネコ・パブリッシング
株式会社交友社	箱根登山鉄道株式会社
相模鉄道株式会社	阪急電鉄株式会社
札幌交通機械株式会社	阪神電気鉄道株式会社
株式会社ジェイアール西日本テクノス	東日本旅客鉄道株式会社
JR東日本テクノロジー株式会社	株式会社日立製作所
株式会社 J T B パブリッシング	北総鉄道株式会社
四国旅客鉄道株式会社	北海道旅客鉄道株式会社
新京成電鉄株式会社	三菱電機株式会社
有限会社秦川堂書店	宮津海陸運輸株式会社
学校法人駿河台学園	森尾電機株式会社
株式会社整電社	株式会社ユタカ製作所
西武鉄道株式会社	

[MEMO]